



一小学校だより

令和7年8月25日号
日野市立日野第一小学校
校長 小川 真由美
TEL 042-581-0061



学校ホーム



充実した2学期に～考え、取り組もう～

校長 小川 真由美

35日間の夏休みが終わり、学校に子供たちの元気な声が戻ってきました。今年の夏休みも毎日暑い日が続きましたが、多くの子供たちからは、家族と出かけたりゆっくり夏休みを過ごしたりしたと聞きました。ダンディーkaiとPTAによる「防災キャンプ」、地域の夏祭りなど子供たちのために、種々の行事を企画していただきありがとうございました。この夏の楽しかったことや驚いたことなどは、子供たちの一生の思い出になるかもしれない貴重なものだと思います。この体験が子供たちの学校生活のエネルギーや原動力になってほしいものです。

この夏、道徳科の全国大会開催地視察のため広島市に行ってきました。その際「広島平和記念資料館」にも行くことができました。被爆80年の節目の年に、改めて戦争の悲惨さや平和の尊さについて考える機会が得られ、よい機会となりました。視察期間中に広島市では「全国高等学校総合体育大会・中国総体（インターハイ）」が開催されていました。広島市は総合開会式の会場となっていましたが、その企画・運営、広報活動に県内24校から45人の有志高校生が、高校生活活動推進委員として携わり、「高校生による高校生のための大会運営」を目指して約2年間にわたり学業や部活動の傍ら何度も集まり、アイディアを出し合い、おもてなしの心で参加者を迎えると準備を進めてきました。当日は高校生が開会式を運営した他、約230名が和太鼓やダンスを披露しました。理想の形を創り上げるために話し合いや練習、試行錯誤を繰り返し、インターハイが運動部だけのものではなく、関わるすべての高校生が活躍できる場になっていることが感じられるすばらしい開会式になったそうです。チームリーダーを務めた高校生の話からは、主体性をもってみんなで繰り返し議論してきた体験によって、創造力や協働力など生きてはたらく力を自ら育んだことがうかがわれました。

本校では、「児童の活躍する行事や場の創出・実施」を掲げ、「子供たち発信の取組み」を実践しています。1学期は、代表委員会による「ひのいちフェスティバル」、図書委員会による「図書室環境整備計画」等に取組みました。活動を通じて仲間と協力してやり遂げた充実感や、次はこんな工夫をしてみたいという意欲を子供たちから強く感じました。2学期は、学習発表会で子供たちのアイディアをできるだけたくさん取り入れた発表内容を工夫する他、委員会、係活動等の常時活動でもできるだけ子供主体の取組を推進し、もっと多くの子供たちに学校でしかできない学びを深めるため、教職員一丸となって取り組んでまいります。

保護者、地域の皆様には引き続き教育活動へのご理解とご協力を願いいたします。